

平成 30 年度
第 55 回
風治八幡宮川渡り神幸祭写真コンテスト



■表彰式/入賞写真展

日 時 : 平成 30 年 7 月 28 日(土) 表彰式 17:00~、写真展 16:00~20:00
場 所 : 風治八幡宮 境内 夏越祭会場

■写真展/開催式典

日 時 : 写真展 8 月 1 日(月)~17 日(金)8:30~17:00 ※土日祝日閉館
開催式典 8 月 1 日(月)8:00~8:25
場 所 : 田川市役所 玄関ロビー

■主催 : 川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会

(主催団体 : 日本報道写真連盟、田川光影会、まつり IN 田川実行委員会)

■後援協力団体 : 風治八幡宮奉賛会、NPO 法人風治さつきの会・風治八幡宮みこしをかつぐ会、白鳥神社神輿有志会、川渡り青年友志会、上伊田西地区獅子楽保存会、毎日新聞社、福岡県、田川市・田川市教育委員会、福岡県立大学、田川商工会議所、田川市観光協会、田川広域観光協会、田川青年会議所、田川ロータリークラブ、田川ライオンズクラブ、田川銀行協会、田川信用金庫、伊田商店街振興組合

ごあいさつ

毎年5月の第3土曜と翌日曜に開催される「風治八幡宮川渡り神幸祭」は、約450年続く福岡県の五大祭りの1つです。

お立ちの獅子舞いの後、参道をくだり万来の拍手で迎えられた大神輿は、白鳥神社の神輿、11基の山笠と合流し川へと向かいます。大神輿を先頭に緋色の鮮やかな幟山笠(のぼりやまがさ)が彦山川を渡り、川の中で若衆が山笠を揺すり氣勢をあげ、水を掛け合うシーンは祭のクライマックスです。

デジタル化により写真愛好家のすそ野は広がり、川渡り神幸祭にカメラをかかえて訪れる観光客は年々増えております。また、カメラ付き携帯電話やネットへの掲載など、写真の楽しみ方は多様化しております。

今年も神幸祭に県知事をお迎えし、勇壮な祭りを楽しんでおられたようです。光影会では、この祭りの姿を写真という形で後世に伝えたいと願い、毎年写真コンテストを開催してまいりました。今後も祭りの発信に努めてまいりたいと思います。

このように盛大に写真コンテストの表彰式、写真展及び写真展開催式典を催すことができますのは、ひとえに関係者の皆様のご支援のたまものです。

今後も皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月28日

川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会

実行委員長 實 藤 清 實

平成 30 年度 第 55 回 風治八幡宮川渡り神幸祭写真コンテスト 報告

■応募総数【一般部門】 158 名 689 枚【カレンダー/ホームページ部門】 30 名 145 枚

■選考から表彰式までの流れ

6 月

2 日・10 日 一次審査実施

◎川渡り神幸祭写真コンテスト事務局が一次審査を実施。書類不備や応募規定等を満たしていない作品を失格としました。

11 日 一般部門について、毎日新聞社写真選考会が同賞候補作品を決定

◎応募をしない事務局長が選考会に持ち込み、応募者の氏名を伏せた上で写真選考委員の二次審査を受けました。

14 日 ホームページ部門について、まつり IN 田川実行委員会写真選考会(応募をしない各ホームページ担当者)が一般部門に準じて同賞候補作品を決定

12 日・14 日 カレンダー部門について、まつり IN 田川実行委員会写真選考会(応募をしない役員及び応募をしないカレンダー部会役員)が一般部門に準じて同賞候補作品を決定

18 日 各賞候補者に写真のネガもしくはデータ提出の通知発送

29 日 提出締め切り 今回 2 件未提出があり 1 件繰り上げました。

7 月

3 日～7 日 三次審査実施

◎2020 カレンダー用に印刷会社にてデータ加工等の確認を実施。

◎印刷上使えない作品であることが判明した場合、賞の候補を取り消しますが、今回はありませんでした。

9 日 川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会で賞を確定

各入賞者に表彰式と写真展の案内を発送

28 日 夏越祭で表彰式と入賞写真展(風治八幡宮にて)

■ホームページでの発表から川渡り神幸祭写真展までの流れ

8 月 1 日 写真展と開催式典(田川市役所にて)

～17 日 写真展以降、順次ホームページで発表(風治八幡宮/川渡り青年友志会/上伊田西地区獅子楽保存会などに提供)

9 月 10 日 2019 カレンダー発売開始、作品掲載

下旬 表彰式出席者へ副賞送付、欠席者へ表彰状/副賞送付

平成 30 年 風治八幡宮川渡り神幸祭で入賞写真展開催予定(おまつり広場にて)